



発行 日本共産党 春日部市委員会 春日部市粕壁東 6丁目7-12 電話 748-5159 FAX 748-5179

市長の施政方針に対する代表質問

給食費無償化、補聴器購入の補助実施を

2月21日、市議会本会議で市長の施政方針に対する代表質問がおこなわれ、日本共産党市議団を代表して並木としえ市議団長が質問しました。

主な質問内容は以下の通りです。

市防災計画の

総点検・見直しを

《災害に対する備え》

●能登半島地震から2カ月。想定をはるかに超える被害に

復旧復興の見通しは見えてこない。地理的な条件は違うが、教訓に学び、市の防災計画の

総点検を行い、必要な見直しをすべき。

《新庁舎について》

●案内がわかりづらいなど、市民から改善の要望が寄せられている。わかりやすく使いやすく改善を。また、職員にとっては働きやすい職場となるよう工夫を。

公共交通にデマンド

導入の検討を

《春バス第4次運行》

●6ルートから3ルートに縮小となり、交通不便地域が広がっている。移動手段の確保

は人権にかかわる。交通不便地域への対応として「デマンド交通」を検討すべきではないか。

《子育て支援について》

●「こども計画」策定にあたっては、子どもの権利を最大限保障するものに。また、本気で子育てを支援し、若い世代が住みたいまちになるために学校給食費無償化を。

《高齢者の生きがいづくり》

●高齢者が地域でふれあい、交流するために身近なところに「いこいの場」の増設・充実をはかり、補聴器購入補助制度の実施を

《公共施設マネジメント計画》

●「学校施設の適正化」を進める意向だが、公共施設マネジメント計画は公共施設の削減、縮小を目的にしている。子どもの減少を理由に安易な統廃合を行うべきではなく、

子ども、保護者、地域の方々とともに慎重な対応を。

《自治体DX》

●デジタル技術は便利と危険が隣り合わせ。利便性を向上させることは必要だが、公的サービスを縮小することがないようにすべき。

市長の主な答弁

- ・防災計画は能登半島地震の教訓を踏まえ見直している
- ・春バスは市民の利便性向上に努める。デマンドについては課題が多いと認識している
- ・給食費無償化は財源が確保できたところで取り組みたい
- ・高齢者が身近なところで健康体操などができるようにしたい。補聴器補助は実施自治体の動向を注視したい。
- ・学校施設の適正化は子どもの学ぶ環境を最優先に学級数や老朽化に対応していきたい。
- ・自治体デジタル化は国の交付金を活用し、利便性向上、ニーズの多様化に対応しサービスの選択肢を増やしていく。



第9期介護保険料 (年額)

段階	第8期	第9期	引き上げ額
第1段階	19440円	21540円	2100円
第2段階	25920円	29100円	3180円
第3段階	42120円	48000円	5880円
第4段階	58320円	68040円	9720円
第5段階	64800円	75600円	10800円
第6段階	77760円	90720円	12960円
第7段階	84200円	98280円	14940円
第8段階		113400円	16200円
第9段階	110160円	128520円	18360円
第10段階	116640円	143640円	27000円
第11段階	123120円	158760円	35640円
第12段階		173880円	50760円
第13段階		181440円	58320円
第14段階		189000円	65880円
第15段階		196560円	73440円

「春日部市介護保険条例の一部改正」が提案され、大野議員が質疑を行いました。

非課税者に年額108000円の増額は適正か

主な改正は、認定審査会委員を50名から60名にする

第9期介護保険料、第5段階 (基準額) 月額6300円で9000円の値上げ

ことと第9期介護保険料の提案でした。

第9期介護保険料は、段階を11段階から15段階として、低所得者の引き上げ幅を抑えたとの提案でしたが、基準額第5段階 (世帯に課税者はいるが本人非課税)

令和4年度の滞納者1146人のうち第5段階までの方は、732人で全体の約64%です。低所得者に重い負担となっています。

大野議員は、せめて非課税者だけでも値上げしない

せめて非課税者は値上げをするべきではない

健康保険部長は「サービスを実績ベースで精査し、基金も活用して試算しましたが、今後のサービスの料を考えると、やむおえず値上げしました。」と答弁しました。

大野議員は「第9期において、2億3000万円の基金を残しています。国から今後介護報酬の改定等あるかもしれないので基金を残してほしいとの指導はあったかもしれないが、市民の暮らしを守るのが市の仕事です。基金と一般財源からの繰り入れで、非課税者の保険料を値上げしない決断をするべき」と求めました。

大野議員は「第9期において、2億3000万円の基金を残しています。国から今後介護報酬の改定等あるかもしれないので基金を残してほしいとの指導はあったかもしれないが、市民の暮らしを守るのが市の仕事です。基金と一般財源からの繰り入れで、非課税者の保険料を値上げしない決断をするべき」と求めました。

健康保険部長は「サービスを実績ベースで精査し、基金も活用して試算しましたが、今後のサービスの料を考えると、やむおえず値上げしました。」と答弁しました。

で年額75600円、月額6300円で9000円の値上げです。(段階別の保険料左記参照)

<値上げをしないために必要な財源>

第1段階	約2525万円
第2段階	約1810万円
第3段階	約3045万円
第4段階	約9463万円
第5段階	約1億649万円
合計	約2億7500万円

ことを求め、非課税の方を値上げしないとしたら財源はどのくらい必要になるかを問いました。(右記参照)

合計で、約2億7500万円でした。

大野議員は「第9期において、2億3000万円の基金を残しています。国から今後介護報酬の改定等あるかもしれないので基金を残してほしいとの指導はあったかもしれないが、市民の暮らしを守るのが市の仕事です。基金と一般財源からの繰り入れで、非課税者の保険料を値上げしない決断をするべき」と求めました。



市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
 3/3(日) (内科系) 東都春日部病院 大畑652-7 TEL739-2000, (小児科系) 安達医院
 栄町3-287 TEL761-6398 (外科系) 東都春日部病院 大畑652-7 TEL739-2000
 3/10(日) (内科系) わかば診療所 小淵1593 TEL753-3530 (小児科系) 豊春内科小児科
 上蛭田681 TEL760-2300 (外科系) 内牧クリニック 内牧3149 TEL755-2118